（別記様式第１号）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請資格２０２３年度第一種奨学金返還免除申請書 | 1.博士前期課程　2.博士後期課程  | 受付番号 |
|  |
| 専攻名コース・領域名 |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （フリガナ）氏　　名 | 　　　　　　　　 | 学籍番号 |  |
| 生年月日 | 　　　年　　月　　日生　　　　（2024年4月1日現在　　　　歳） |
| 第一種奨学金貸与期間・年数 | 　　年　　月 ～ 　 　　年　　月　（　　年　　ヶ月） |
|  |
| 学位※ 2023年度中に取得又は取得見込の場合のみ記入 | 博士（　　　　）修士（　　　　） | 　 年 　月1.取得2.取得見込 | 単位修得退学 | 　　 年 　月所定の単位修得の上退学（見込） |
| 学　歴 | 1. 　　年　　月　　　　　　　　大学　　　 学部　　　 学科卒業2.　　　　年　　月　　　　　　　大学大学院博士前期課程（修士課程）入学　　　　　　　　　　　　　　　（　　　　　　　　研究科　　　　　　専攻）3.　　　　年　　月　　　　　　　　大学大学院博士前期課程修了（見込）　　　　　　　　　　　　　　　（　　　　　　　　研究科　　　　　　専攻）4.　　　　年　　月　お茶の水女子大学大学院博士後期課程入学　　　　　　　　　　　　　　　（　　　　　　　　研究科　　　　　　専攻）5.　　　　年　　月　お茶の水女子大学大学院博士後期課程修了（見込）　　　　　　　　　　　　　　　（　　　　　　　　研究科　　　　　　専攻）6.　　　　年　　月　所定の単位を修得の上退学（見込） |
| 研究・職歴 |  |
| 博士前期課程第一種学資金返還免除の有無（博士後期課程入学者のみ記入） | 有　・　無 |
| 日本学術振興会特別研究員採用歴 | 　　年　月より（　DC1 ・ DC2　・PD　）に採用（予定） |
| 在学中の指導教員 | 学位論文審査員 |
| 1 | 1 |
| 2 | 2 |
| 3 | 3 |
| 4 | 4 |
| 5 | 5 |

修了後の進路（なるべく詳しく記入すること。）

|  |
| --- |
|  |

連絡先

|  |  |
| --- | --- |
| 現住所 | 〒 電話番号：(　　　　) 　 － 　　　 e-mail： |
| 審査結果　通知先 | 1.現住所　　　2.その他（下記に宛先を記入のこと） |
| 〒電話番号：(　　　)　　　－　　　e-mail： |

教育研究活動等の業績

　※添付する証明書類について

　　①申請書に記載する業績との対応が分かるよう適宜番号を書き込むこと（付箋添付は不可）。

②A4サイズに揃えること。

③ホッチキス止めはしないこと。

１．学位論文又は学位申請論文の要旨：1,000字以内

　①これまでの研究と成果について、研究の背景・目的・特色・独創的な点について、記載すること。なお、論文を引用する場合は、「３．研究業績」のうち、どの論文を引用したかわかるよう番号等を用いて明記すること。共同研究の場合は、申請者が担当する部分を明らかにすること。

　②これまでの先行研究等の論文と比較しながら、本研究の独創的な点について記載すること。

　③専門領域の異なる選考委員にもわかりやすい内容となるよう心がけること。

|  |
| --- |
| 研究課題 |
| 【資料番号】 |

|  |
| --- |
|  |

２．今後の研究計画と研究の展望

①どのような研究計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入すること。

②共同研究の場合は、申請者が担当する部分を明らかにすること。

③就職先の都合で今後の研究内容が未定の場合や今後は研究を行なわない場合はその旨を記載すること。

|  |
| --- |
|  |

３．学位論文、研究論文、著書、データベースその他の著作物、発明等の研究業績

|  |
| --- |
| (1) 査読付き学術雑誌等に発表した論文（採録決定・査読中のものを含む）　　査読付きの論文について、リストを記載したうえで、主要なもの３点以内を選び、論文　名の冒頭に○印を記載すること。共著の場合、申請者が中心的な役割を果たした論文のみ記載し、論文におけるあなたの貢献を明記すること。免除を申請する学資金貸与期間に行った研究に関する論文のみを記載すること。博士後期課程の者は、機構提出用様式1-2の記入方法に倣うこと。①著者（申請者を含む全員の職・氏名を、論文と同一の順番で記載すること。）、論文題名、掲載誌名、発行所名、年月、巻号、頁を記入し、申請者にアンダーラインを付すこと。②出版前の学術雑誌等については、採録決定・査読中の別を明記し、本欄に記載すること。ただし、採録決定されたものについて　は、受理証明書（メールのみでの受理証明の場合は、プリントアウトしたもので差し支えない。）を添付すること。　なお、日本語・英語以外の受理証明書は和訳をつけること。③査読付き論文ではない場合、(３)紀要等の欄に記入すること。④学会誌等における紙上発表については、その旨を明記して、この欄に記載すること。　【資料番号】　　　　以上　　　　　　件　　 |
|  (2)　国際会議における発表、国外、国内の学会における口頭発表もしくはポスター発表した論文国際会議、国外、国内の学会の別、口頭発表あるいは、ポスター発表の別、共同研究者（全員の氏名）、題名、発表した学会名、場所、年月をこの欄に記載すること。なお、査読のある会議で発表をした場合は、既発表・採択決定・査読中の別を明記すること。【資料番号】　以上　　　　　　件（3）紀要等に発表した論文著者（申請者を含む全員の職・氏名を、論文と同一の順番で記載すること。）、論文題名、掲載誌名、巻号、発行所、年月、巻号、頁を記載入し、申請者にアンダーラインを付すこと。査読付紀要論文については3.（1）に記載すること。【資料番号】 以上　　　　　　件 |
| (4)　専攻分野に関連した研究の著書、データベースその他の著作物、発明・特許等の業績①それぞれを区分して記載すること　②著書の場合には、著者（申請者を含む全員の職・氏名を、論文と同一の順番で記載すること）、著書名、出版社名、出版地、発行年月を記載すること。【資料番号】　以上　　　　　　件 |

４.授業科目の成績等

|  |
| --- |
| (１) 成績証明書を提出すること【資料番号】　(２) 教員採用試験、国家公務員試験、その他専門に関連する知識に基づく公的資格を取得した場合にはこの欄に具体的にその内容を記載すること。【資料番号】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上　　　　　　件（（２）について） |

５．研究又は教育に係る補助業務の実績

本学ティーチング・アシスタント(TA)／リサーチ・アシスタント(RA)採用歴

|  |
| --- |
| 　　年　　月　　〜　　　　年　　月担当授業科目（　　　　　　　　　）TA・RA　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　博士前期　・　学部 |
| 　　年　　月　　〜　　　　年　　月担当授業科目（　　　　　　　　　）TA・RA　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　博士前期　・　学部 |
| 　　年　　月　　〜　　　　年　　月担当授業科目（　　　　　　　　　）TA・RA　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　博士前期　・　学部 |
| 　　年　　月　　〜　　　　年　　月担当授業科目（　　　　　　　　　）TA・RA　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　博士前期　・　学部 |
| 　　年　　月　　〜　　　　年　　月担当授業科目（　　　　　　　　　）TA・RA　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　博士前期　・　学部 |
| 【資料番号】 　　　　　　　　　以上（TA）合計 　　　　回 　　　　ヶ月　　　　　　　　　　　　　　　（RA）合計 　　　　回 　　　　ヶ月 |

その他の教育研究の補助業務歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時期 | 活動名 | 責任者 | 受講者 |
| 　　年　　月 |  |  |  |
| 　　年　　月 |  |  |  |
| 　　年　　月 |  |  |  |
| 　　年　　月 |  |  |  |
| 　　年　　月 |  |  |  |
| 　　年　　月 |  |  |  |
| 　　年　　月 |  |  |  |
| 　【資料番号】　　　　　　　　　　　　　以上　　　　　　件 |

６．音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績、スポーツの競技会における成績

|  |
| --- |
| 【資料番号】 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上　　　　　　件 |

７．ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績

|  |
| --- |
| 【資料番号】 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上　　　　　　件 |

８．その他

学内表彰歴

|  |
| --- |
| 【資料番号】 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上　　　　　　件 |

学会賞などの受賞歴

|  |
| --- |
| 【資料番号】 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上　　　　　　件 |

その他の特記事項（経済的状況など）

|  |
| --- |
|  |